

森とレジリエンス

長野フォーラム 2026
～地域から正の連鎖を生み出す～

自然―人―地域社会の「あいだ」にあるつながりをつなぎ直し、
正の連鎖を生み出していく
「レバレッジポイント」になれるのは地域。



2026

5.16^土

11:00-18:00 (受付開始 12:40)

長野県佐久市 みどりの村
(長野県佐久市印内 561-1)

会費について

●一般参加の方

GCRC 会員： 5,000 円

非 会 員： 15,000 円

(※マイクロバス、地産地消ランチ、懇親会込み)

非会員の方は、事前の会員手続きをおすすめしています。
詳しくは申込フォームをご確認ください。

●佐久地域にお住まいの方

1,000 円

(※現地集合、地産地消ランチ、懇親会実費)

●学生又はそれに類する方(U25)

GCRC 会員料金 (5,000 円) で参加可

アクセス

●電車・新幹線でお越しの方

北陸新幹線「佐久平駅」下車。※駅よりマイクロバス送迎あり(要申込)
※集合場所・時間はお申込み後にご案内します。

●お車でお越しの方

「みどりの村」へ直接お越しください。※現地集合・駐車場有り

●宿泊について

「みどりの村」で宿泊も可能です(宿泊費1万程度/現地払い)

主催者側で客室を一部確保しています

ご希望の方は【2026年4月12日まで】に申込フォームよりお知らせください。

追加オプション翌日 5/17(日)：哲学カフェ@民藝館およびフィールドワーク@佐久地域)

主催／一般社団法人地球社会レジリエンスセンター
協力／みらさく防災ネットワーク&佐久地域有志一同

申込

参加のお申込みはこちらから
申込期日：5/6(水)まで
※事前申込制



鎧 (組織や専門や肩書きなど) は一旦横に置いて、一人ひとりの知と経験に向き合い、自然と地域の関係性の質を見直す。そんな「根っこある対話」から、変容のほうへ。

自然一人一地域社会の「あいだ」にあるつながりをつなぎ直し、正の連鎖を生み出していく「レバレッジポイント (押しボタン)」になれるのは地域。

学問や科学分野の枠の中に留まらず、地域知、実践知、生活知、身体知、経験知——時には目に見えず、言語化しにくい知を尊重し、そしてそれらの知が重なり合う「Boundary (境界領域)」に意識を向けて。

レジリエンスを可能にするための「レジリエンス」とは、「状況変化を重視し、短・中・長期的な視点から社会に散在する点を線で結び、木を見て森も見ながら、予測しないことが起きても、逆境にあっても折れない環境を生み出すこと」(清水 2015)。

そのイメージを中心に据えて、地域の点と点を結び、木を見て森も見ながら、正の連鎖を生み出す一。それを頭で一時的に考えるだけでなく、自然の力も借りて心と身体を伴いながら、協働による知 (協働知) を創る場を、長野の緑あふれる地で拓きます。

5月の青空の下、ご一緒しませんか。その知の種をそれぞれの現場に持ち帰り、正の連鎖を生み出していけるように。

1日の流れ

- 11:00 佐久平駅で待ち合わせ マイクロバスでみどり村へ
- 12:00-12:40 地産地消ランチをしながらの歓談
- 12:40-13:00 受付
- 13:00-13:30 チェックイン
イントロダクション～森とレジリエンス&正の連鎖とは～
- 13:30-14:20 **第1楽章<パネル対話1>**
気候変動・防災・地域のレジリエンスを編む
- 14:20-15:10 **第2楽章<パネル対話2>**
都市と地方の循環知を創り出す
- 15:10-15:30 ティータイム
- 15:30-16:20 **第3楽章<パネル対話3>**
いのちを育む未来の食をデザインする
- 16:20-16:50 クロージング&チェックアウト～”Insight “気づき&[編む]”～
- 17:00-18:00 ハッピーアワー
宿泊者以外の方々はマイクロバスで佐久平駅へ

パネラー



上田耕佑

身の丈環境活動家/
(時々) 防災士



岡本克彦

サステナビリティカタリスト



清水美香

サステナビリティ研究者



柳町みゆき

微細藻類好き



藪本亜里

関係性&ルーツケア



吉岡多美恵

まちのつながり応援団

登壇者は今後も更新予定です。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

追加オプション

5/17(日)

哲学カフェ @ 民藝館
&
フィールドワーク (佐久地域)



(一社)地球社会レジリエンスセンター
Global Community Resilience Center(GCRC)



当センターは、分野横断・協働を促進するための「人」の育成や、組織イノベーション、マクロとミクロあるいは都市と地域をつなぐ問題解決志向プログラムの創出・実践を行い、SDGs 実施および地域・社会の再生・再構築に貢献することを目的とします。(https://www.gcrc.or.jp)